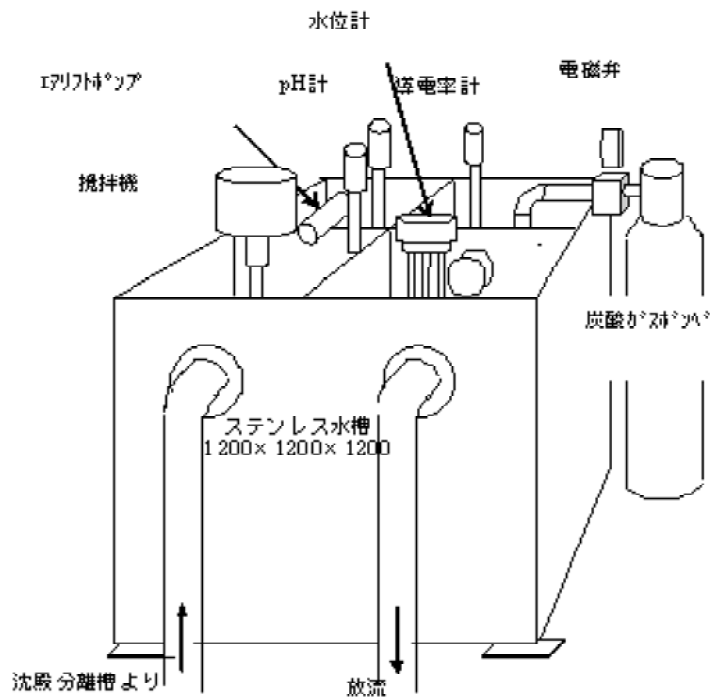


産学公共共同研究による環境にやさしい消毒技術開発に着手

当センターが、京都産業大学鳥インフルエンザ研究センター、グローバリーテック株式会社（京都市南区）とともに実施する「石灰系化合物を用いた鳥インフルエンザウイルス不活化処理装置の開発」が地域イノベーション創出総合支援事業「地域ニーズ即応型」（（独）科学技術振興機構公募競争的資金）に採択されました。

この研究を通じて、高病原性鳥インフルエンザの発生時や感染野鳥の棲息水域等を対象として、より環境に影響の少ない消毒技術開発を確立するとともに低コストな消毒装置の実用化を目指します。



殺菌・排水処理装置のイメージ図

開発する石灰系化合物による殺菌・排水処理装置のイメージ図